

- 今後、例えば以下のような事項について、航空会社等への実態調査、学生等への意識調査を行った上で、検討を進めてはどうか

## 1. なり手を増やす

### 【アンコンシャスバイアス（無意識の思いこみ）への対応】

- ・ 学生等に「操縦士は男性の仕事」「育児と仕事の両立が困難」などの、アンコンシャスバイアス（無意識の思い込み）が定着しているのではないか
- ・ これを改善するために、学生に対する広報の工夫、養成機関を含む女性専用施設の充実・発信、（独）航空大学校において最近の理工系大学で進められている女性枠の設定などの工夫が考えられるのではないか

### 【採用/入学要件】

- ・ 航空会社、養成機関などの採用/入学要件について、過度な要件となっていないか

## 2. 女性職員の定着

### 【労働環境一般】

- ・ 他分野と比べ、育児休暇が取りづらい、残業時間が多いなど、女性活躍を阻害する要因はないか

### 【航空特有の業務環境】

- ・ 例えば、長期にわたる機長養成期間において育児休業を取りづらい、妊娠中に女性操縦士に乗務をさせることに躊躇、など航空特有の業務環境が、女性活躍の阻害要因となっていないか

### 【雇用側の意識・風土】

- ・ 経営層、管理職層が正しく女性活躍推進の意義を理解しておらず、様々な場面において、働きづらい雰囲気となっているのではないか